

No. 2898

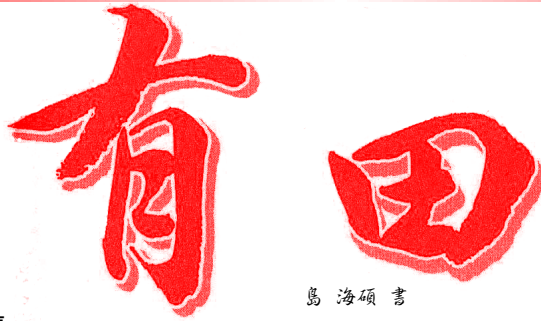
2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：丸山委員、中村副委員長



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



次回のお知らせ

平成31年2月7日 第2900回

- ・外部卓話：宇治川 貴史 氏「ロータリー平和フェローシッププログラムで学んだことー戦争と紛争と平和ー」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

本日のプログラム

平成31年1月31日 第2899回

- ・ローテーションデー：
- トヨーカネツ・ソリューションズ見学
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2898回例会）

開催日 平成31年1月24日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト：澤柳 正子 様

(テストイモネARIDA 代表取締役)

会長の時間 (上野山(栄)会長)

「ロータリーは世界をつなぐ」

皆様、成人の日に伴い先週は休会でした。新年例会では親睦活動委員会の皆さんにお世話になり、楽しい時間が過ごせました。有難うございました。太鼓の鼓動をあの様に体感することも初めてで、年始のモチベーションを上げてくれました。何よりも会員様やご家族の皆様とゆっくりお話が出来る機会がやはり良いですね。このような機会をもっと増やす事も必要だと思います。本年は昨年について休日のある週は休会としています。周年事業を含め多くの事業がありますので、あえて休会を増やすようにしていますが、お正月の前後には休会が多く、皆さんとお会いする機会が少なく申し訳ありませんでした。ここからの半期もまた、色々盛りだくさんです。いつもお願いしている通り、全員事とお考えいただき、事業を進めて参りましょう。

さて、次年度会長テーマと会長賞のパンフレットを印刷して参りましたのでお配りします。マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長エレクトは1月14日(月)、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催中の次期ガバナーエ



レクトへの研修行事である国際協議会において、2019-20年度の世界をつなぐ」を発表しました。次のような記事がマイロータリーに掲載されています。直訳的な文章ですがご紹介いたします。

「最初の強調事項はロータリーを成長させることです。私たちの奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させること、また、最も重要なのは、これからより多くのことを達成するために、会員を増やすことです」とマローニー会長エレクトは述べました。

ロータリーでの経験の中核にあるのは「つながり」であるとマローニー会長エレクトは信じています。「ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます」とマローニー会長エレクト。「ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」

さらに、多様な会員から成る会員増強委員会を設立することで、現在クラブに反映されていない地域社会の人たちを特定するようすべてのロータリークラブとローターアクトクラブに促しました。

また、「ユニークなネットワークを駆使するロータリーを通じて、私たちは人類の素晴らしい多様性をつなぐ、共通の目的において末永く続く深い絆を創り出します。世界がこれまで以上に分断する今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです」と続けました。

会長エレクトはさらに、忙しい職業人や家族の都合でも忙しい会員にもリーダーの役割を果たしてもらえよう、さまざまな例会の内容や奉仕プロジェクトの機会を提供するよう促しました。



「ロータリーでの活動と家族との時間が競合せず、互いに補完し合うような文化をつくっていく必要があります」と会長エレクト。「これには、現在の文化を変えるための現実的なステップを取ること、つまり、期待値を現実的に受け止め、スケジュール作りを熟考し、すべてのレベルのロータリー行事に子どもを受け入れることを意味します」

国連との関係

2019-20年度、ロータリーは世界中で会長主催会議を主催します。この焦点は、国連との関係と、多くのロータリー奉仕プロジェクトが支援する国連の持続可能な開発目標です。詳しい情報は、7月に発表されます。2020年、国連はその創設と平和の推進という使命に基づいた活動の75周年を迎えます。ロータリーは、国連憲章につながった1945年のサンフランシスコ会議で相談役を務めるために米国が招へいた42の組織の一つでした。それから何十年もの間、ロータリーは世界中の人道的課題に取り組むため、国連と共に活動してきました。国連は今日、ロータリーに対し、非政府組織の相談役に対して与える中で最高の立場を認めています。

マローニー会長エレクトは次のように述べました。「ロータリーは、より健康で、平和で、持続可能な世界に対する国連の継続したコミットメントを共有しています。また、ロータリーはほかの組織にはかなわないものを提供します。それはつまり、奉仕と平和という精神の下に世界中の人びとがつながることができ、目標に向かって意義ある行動を起こすことのできるロータリーのインフラです」

本年度、地域に目を向け、地域との繋がりを意識しインスピレーションになれるであろう活動を行なっています。「つなぐ」というキーワードは橋本年度につなぐ今年度の後半にとっても、とても良い言葉だと思います。

幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

1. 第7回定例理事会報告

- ①1月・2月例会プログラムの件…承認
 - ②12月試算表の件…承認
 - ③ミャンマー国際奉仕事業決算報告の件…承認
 - ④60周年事業の件…承認
 - ⑤来賓名簿に直前ガバナーとガバナーエレクトを追加する
 - ⑥後期IDMの件…承認
I 班サブリーダー橋爪正芳→嶋田崇
 - ⑦箕島高校職業紹介事業の件…承認
 - ⑧新会員候補者の件…承認 候補者名→嶋田恵さん 職業分類開設→トータルライフコンサルタント
 - ⑨親睦家族旅行の件…承認 3/31(日) 河内ワイナリー見学・昼食 夕食→五條源兵衛(奈良県五條市)
2. 地区より2019年度米山奨学生世話クラブ募集案内が届く→橋本会長エレクト
3. ロータリー米山記念奨学会より“ハイライトよねやま”が届く→丸山米山記念奨学会委員長



4. 雑誌「the Rotarian」を回覧

ロータリー友誌 (嶋田(ひ)R広報委員)

ロータリーの友誌1月号

1月は職業奉仕月間ということで、たくさんの職業奉仕に纏わる記事が掲載されています。

☆ヨコ組

- ・P1 RI会長メッセージ
- ・P10～ 私の職業奉仕「ロータリーの本質は職業奉仕」の真意とは。

☆タテ組

- ・P4～ 日本でいちばん大切にしたい会社
- ・P15 私とロータリー ロータリーに入って良かったこと 悪かったこと
- ・P24 大相撲秋巡業「池田くれは場所」開催

委員会報告

*会員組織委員会(應地委員長)

新しい職業分類が理事会で承認されました。「トータルライフコンサルタント」です。

*職業奉仕委員会(井上委員長)

ローテーションデーの連絡。

日時:1月31日(木)12:30～

場所:トーヨーカネツソリューションズ

*親睦活動委員会(石垣(泰)委員長)

本日、例会終了後5F経済クラブにて委員会を開催いたします。

*社会青少年奉仕委員会(川口委員長)

職業紹介事業のご案内と説明

*R財団委員会(松村委員長)

中村吉伸さんより財団へ特別寄付をいただきました。

*米山記念奨学会委員会(橋爪国際奉仕委員長)

中村吉伸さんより多額のご献金を賜りました。

出席報告 (木本例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数20名

(出席規定免除会員5名)

74. 10%

1/10 88. 00%

MU:なし

ニコニコ箱の報告 (松村SAA)

上野山(栄)君: テスティモーネの澤柳様、本日は有田RCへお越し頂きありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。新年例会では楽しい時間をありがとうございました。

嶋田(崇)君: 澤柳様、本日の卓話楽しみです。

川口君: 澤柳正子様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願い致します。勉強させていただきます。

上野山(捷)君: 澤柳正子様、卓話楽しみにしています。

木本君: 澤柳正子様、本日の卓話宜しくお願い致します。

菅原君: 澤柳様、卓話宜しくお願い致します。

中元君: 澤柳正子様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

児島君: 澤柳正子様、ようこそ有田RCへ。お話楽しみです。

井上君: 澤柳様、ようこそ有田RCへ。本日よろしくおねがひします。

石垣(泰)君: 澤柳様、本日の卓話楽しみにしています。

岩本君: 新年例会には失礼致しました。お陰様で年末年始諸行事に無事奉仕する事が出来ました。

橋本君: 澤柳さん、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。

嶋田(ひ)君: 澤柳正子様、本日の卓話楽しみです。

橋爪(誠)君: 澤柳正子様、ようこそ有田RCへ。本日よろしくお願ひいたします。

松村君: 澤柳様、本日ありがとうございます。地域活性化について勉強させていただきます。

ベースは「目に見えない」部分に特に大切な要素が隠れていると確信しています。それは「地域愛」のようなもの。地域への誇りとか、ワクワクする気持ち、大好きという愛情です。

リクルートによる調査で「地域愛と来訪者意欲は正の相関にある」というデータが発表されています。要は“地域愛が強い地域”は“訪ねたい地域”となるということです。地域愛と地域力は密接な関係にあるということが分かっています。ここ有田でも例外ではありません。人材、食材、景観など、もともと有田にある素晴らしい地域資源を「おしゃれ」に磨き上げて、地域内外の人がより地域に愛着を感じ、心がふんわりとアガる(嬉しい・大好き・気持ちいい等)事が活性のスタートだと思っています。その信念で、店名をテストモーネという名前にしました。これはイタリア語で「証明する人」という意味です。この町にある宝に触れ、その価値を認め、この地の証人となってくれることに期待したネーミングです。

人里離れた山の中での飲食店開業は反対意見も多くなりましたが、SNSや口コミのおかげで地元だけでなく京阪神や東京、海外からもお客様が来られるようになりました。開業当初より感じていることですが、新しくチャレンジをする際は、常識や枠組みに捕らわれないこと。これまで受けた教育や見聞きしてきた情報など「知識重視」の価値観から脱却し、「自分の頭でしっかり考える」ところにチャンスがあると感じています。まだまだ生まれたばかりのレストランで不安定さはありますが、今後も有田のファンの増殖を目指し、また新たなチャレンジをしていきたいと思ひます。皆さん、どうぞ応援&ご支援よろしくお願ひ致します。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

卓話

**「人口3万人のまちのレストラン経営
～地域活性化の大切な要素とは～」**



テストモーネARIDA
代表取締役
澤柳 正子 様

有田みかん海道にたつレストラン「テストモーネ アリダ」は地域活性に向けた手法の1つとして、2017年6月に開業いたしました。この店を開業するまで、私はリクルートで国内旅行領域のセクションに所属し、中山間地域の研究や地域活性化のサポートを担当業務として参りました。長く続けてきたこの「地域活性化」という言葉は、非常に多様な意味を持ちますが、明確に定義されていないことも事実です。定住人口の増加や企業誘致、地域にお金が落ちるシステムづくりなど、「目に見える」結果を求める声も世の中では多く聞かれますが、私は地域活性化の



日程	2月の例会プログラム
2/7(木)	外部卓話：宇治川 貴史 氏 (特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 西日本豪雨災害事業現地責任者) 「ロータリー平和フェロシッププログラムで学んだこと 一戦争と紛争と平和一」
2/14(木)	休 会
2/21(木)	クラブフォーラム 「創立60周年記念事業について」
2/28(木)	後期 I DMの発表

